



# JICA 筑波 絆で結ぶ国際協力 — 世界と TSUKUBA —



## 帰国研修員と青年海外協力隊員との連携 ～ブルキナファソ・水田除草機の農家への紹介セミナー～

### ブルキナファソ研修員が水田除草機を JICA 筑波で試作

ブルキナファソでは米の需要が急増していますが、その大部分を輸入に頼っており、自給率の向上は喫緊の課題です。このような背景から 2014 年に農機具コースに参加したウスマンさんは水田用の除草機を試作しました。

稲作は「雑草との戦い」です。除草作業は過酷な労働であり、また農家にとって貴重な肥料を雑草に吸い取られれば米の収量・収入も低下します。そのため、雑草を抑える除草機は重労働からの解放といった生活改善や経営改善に資する可能性を秘めています。



試作した除草機の性能評価試験をするウスマンさん

### 帰国後、青年海外協力隊員(稲作技術)と連携して水田除草機を農家や農業改良普及員に紹介

JICA 筑波と JICA ブルキナファソ事務所のアレンジにより、ウスマンさんと稲作技術の青年海外協力隊員が連携し、農家 20 名と農業改良普及員に対し、ウスマンさんが持参したパソコン動画と除草機を示しながら使用方法や利便性について紹介しました。

セミナーでは活発な質疑応答があり、最後に参加者たちの、「試してみよう！そのために従来の種をばらまくやり方ではなく、列にして播くなどの工夫をしよう！」という掛け声で終わりました。



自作除草機を説明するウスマンさん

### 今後に向けて－除草機研修の準備－

紹介セミナーは当初、実際に水田で農家に使用体験をしてもらう予定でした。残念ながら、2015 年は雨の少ない年でした。ブルキナファソでは降雨を利用した水田(天水田といいます)がほとんどを占めており、協力隊員や普及員の懸命の調査にも関わらず体験をできるだけの水がある水田は見つかりませんでした。

2017 年現在、ウスマンさんは農家に除草機の利便性を理解してもらうために、除草機の農家向け研修の実施を準備中です。研修準備の一環として、日本の水田除草機の歴史等の情報も収集中するなど活発に活動しています。

ブルキナファソの稲作振興に向けたウスマンさんのこれからの活躍が期待されます。

### 【研修コース情報】

研修コース名	課題別研修「ニッポンのモノづくりのノウハウを活用した官民連携による小農向け農機具の試作品の開発・普及」
問い合わせ先	JICA 筑波 代表メールアドレス: <a href="mailto:tbiccttp@jica.go.jp">tbiccttp@jica.go.jp</a>